

ROADSTER

新チューンで
馬一体を体感せよ



No.8

日本にはロードスターがある!
**HISTORY of
ROADSTER**



ロードスター
アップの
ニックも満載

**イトウェイトを
りこなせ!**

ショップが手がける
上デモカーが大集結

1500 オーバーの
アイテムを一挙掲載



チューニング&ドレスアップカタログ



DUCKS GARDEN for ND5RC Roadster Bodykit

鴨ダックスガーデン
☎0291-32-6478
http://www.ducks-garden.co.jp

for ND5RC

取材協力: TAX市原 ☎0436-23-0002
http://www.tax-i.com
PHOTO: 金子信敏
REPORT: 渡辺大輔



左右のフロントダクトが存在感を主張するフロントバンパー。ダクトフィンが中央でつながるようにデザインされた造形はスポーツカーらしい印象を与えている。また、ヘッドライト部分は中央部分が細く絞り込まれ過ぎていると考え、あえて目頭部分をフラットにしているのも特徴のひとつだ。

フロントバンパーやリアバンパーで特に注目したいのが、ポイントメイクにカーボンを組み合わせていること。フロントではヘッドライトの目頭部分を広く見せるため、バンパーのデッキ部分にカーボンプラス。リアは明確なデッキ形状を表すとともに、カーニッシュ部分にレッドカーボンを使用することで、左右のテールランプと繋がる印象を持たせている。

バンパー	8万8560円
スポイラー	4万5360円
リアバンパー	8万8560円
リアスポイラー	2万5920円
全キット	15万120円(MT) / 1万4580円(AT)



アルミペダルはMT用にアクセル、ブレーキ、クラッチ、フットレストの4点を、AT用にはアクセルとブレーキ、フットレストの3点をセットにしてリリース。スタイリングと機能性を兼ね備えたアイテムだ。



こちらはブラックで統一されたバージョン。複雑な造形のフロントバンパーは派手になりすぎる傾向にあるが、洗練されたスタイリングだけに全体的にも引き締まった印象になる。

よりスタイリッシュでスポーティに ディテールの見直しでブラッシュアップ



①サイドは純正のサイドアンダースカートと同様の高さで設定しつつ、純正よりもワイドな形状にすることで存在感をアップ。より軽快なサイドビューを作り上げている。

②リアバンパーはバンパーらしい形状を目指し、カーニッシュを垂直に立たせることで明確なデッキ部分を造形。また、一体成形となるアンダーディフューザーは、センターにフィン1本のみ設定する。

③トランクの形状が独特なNDにリアウイングを取り付けると、デザイン次第ではハイマウントストップランプを隠してしまう。そのため後方からの視認性を考慮した形状と角度を計算したのがこのリアウイングだ。

東京オートサロンで数々の賞を獲得し、多くのカスタマイズファンから注目を集めるダックスガーデン。その最新作となるのがこのNDロードスターだ。
同社ではエアロ製作を行うにあたり、スケッチの作成にはじまり細かいフォルムの決定といったプロセスを踏まえながら熟考するのが基本的なスタンス。しかし、このロードスターにたってはインスピレーションを重視して造形を開始。それというのも、すでに明確なビジョンが見えていたからなのだという。

販売も行われることから、実用性も加味した作りも注目ポイント。特にフロントバンパーは約30mm延長されているものの、地上高を確保。加えて牽引フックの取り付け部も、純正同様に脱着式カバーを付けることで、万が一の対策も怠っていない。
リアウイングは、後方からハイマウントストップランプが視認できるよう、サイズや角度を調整。すべて合法かつ乗る人に不便を与えない仕上げは、長年エアロ製作を行っているダックスガーデンならではのこだわりも見える。

また、エアロパーツに加えインテリアパーツとしてアルミペダルセットもラインアップ。純正ペダルに無加工で取り付けられる手軽さに加え、ブレーキやクラッチペダルにはパーリング加工を施工。滑り止め機能もプラスし、スタイリッシュかつ安全にドライビングを楽しめる実用アイテムとしても取り入れた製品だ。

ダックスガーデン 有働さん

NDロードスターを手がけるにあたって、自分の中で明確に「ここは嫌だ」という部分があったため、意外とすんなりデザインが決定しましたね。そういった部分をひとつずつ解消していくことで、スポーツカー然としたフォルムが完成したと思います。現状では「フォーマルホイールとロードウンスプリングのみなのでもっと高級な印象ですが、足回りに手を加えればもっとスポーティな装いに生まれ変わりますよ!

